

**配点項目****I, 専門相談支援機能**

- ① 包括的な相談の受け止めができているか。
- ② 対応が困難な事案や課題の全体像を把握した上で、支援機関の役割分担ができているか。
- ③ 本人や世帯を取り巻く支援機関と協働できているか。
- ④ 本人や世帯を取り巻く地域の関係者(民生委員等)や地域住民と協働できているか。
- ⑤ 本人や世帯を取り巻く地域の関係者(民生委員等)や地域住民に意識の変化が見られたか。
- ⑥ 支援機関へのバックアップができているか。
- ⑦ 地域住民や団体へのバックアップができているか。
- ⑧ 地域の様々な活動や機関と連携・協力ができているか。

**II, 保健機能**

- ① 地域診断や保有データ活用に基づくPDCAサイクルの実施ができているか。
- ② 個人や家族の課題解決のための支援及び予防的介入ができているか。
- ③ 個別課題から地域課題への視点をもって、活動の展開ができているか。
- ④ 自然に健康になれる環境づくりができているか。

**III, 地域づくり機能**

- ① 地域の主要な団体(地域協議会・自治会・福祉委員会等)の活動の場に参加できたか。
- ② 住民活動の場等において、地域資源を把握し、課題、希望等を聞取ることができたか。
- ③ 圏域の課題を住民と共有し検討を行い協議できたか。
- ④ 地域の機関等と連携できたか。

**IV, 多機関協働事業**

- ① 会議を通じて、課題を発見・予見できる体制を整えているか。  
※個別事例、地域の潜在する問題等
- ② 会議において、現状の把握、共有ができているか。
- ③ 会議において、課題(解決を妨げる要因を含む)の整理、共有できているか。
- ④ 会議において、支援の方針・方法を明確にして、共有できているか。
- ⑤ 会議において、各機関の役割分担ができているか。
- ⑥ 継続的な支援が必要な場合、状況に応じて会議の開催を行えているか。

**【採点基準】**

3点: 取り組むことができた。(〇3つ以上)

2点: 概ね取り組むことができた。(〇2つ)

1点: やや取り組むことができなかった。(〇1つ)

0点: 取り組むことができなかった。(〇なし)

I, 専門相談支援機能

<b>① 包括的な相談の受け止めができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	属性や世代を問わない相談を受け止めた。
<input type="radio"/>	相談支援機関等が担当する福祉分野に関するものでなくても受け止めた。
<input type="radio"/>	複数の関係機関で連携して対応する相談を受け止めた。
<input type="radio"/>	福祉部門以外の関係課からの相談を受け止めた。
<b>② 対応が困難な事案や課題の全体像を把握した上で、支援機関の役割分担ができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	各支援機関の方向性及び考え方(支援の方針)の範囲を共有できた。
<input type="radio"/>	分野を超えた課題の共有や協議を行った。
<input type="radio"/>	支援機関等の役割分担を行った。
<b>③ 本人や世帯を取り巻く支援機関と協働できていますか。</b>	
<input type="radio"/>	本人や世帯に対し、関係支援機関と共に必要な情報の収集を行った。
<input type="radio"/>	本人や世帯に対し、関係支援機関と共に必要な情報の提供を行った。
<input type="radio"/>	複層的かつ多角的に支援検討するために、関係支援機関、市民などと情報共有を行った。
<input type="radio"/>	課題解決に向けて同じ方向性を持てるよう努めた。
<b>④ 本人や世帯を取り巻く地域の関係者(民生委員等)や地域住民と協働できていますか。</b>	
<input type="radio"/>	相談業務、地域組織のバックアップ等様々な業務を通じて積極的に地域に出向いた。
<input type="radio"/>	支援を必要とする方へのアウトリーチによる活動を行った。
<input type="radio"/>	地域で把握した情報を活用し、生活課題の解決を地域住民に働きかけた。
<b>⑤ 本人や世帯を取り巻く地域の関係者(民生委員等)や地域住民に意識の変化が見られたか。</b>	
<input type="radio"/>	アンケートや聞き取り(ヒアリング)を実施した。
<input type="radio"/>	支援者や地域住民の間で、支え合う気持ちや言動が見られた。
<input type="radio"/>	地域住民と直接連携する場面が増え、相談者を紹介されることが増えた。

**⑥ 支援機関へのバックアップができていたか。**

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| <input type="radio"/> | 支援機関と圏域内課題の整理や課題の再確認を行った。 |
| <input type="radio"/> | 支援機関が参加する会議を行った。          |
| <input type="radio"/> | 支援機関対象に研修や講演会等を実施した。      |

**⑦ 地域住民や団体へのバックアップができていたか。**

- |                       |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| <input type="radio"/> | 圏域内の地域住民や団体が開催する会議に参加した。         |
| <input type="radio"/> | 圏域内の地域住民や団体が課題と考えることの整理や再確認を行った。 |
|                       | 地域住民や団体の参加できる研修や講演会等を実施した。       |
| <input type="radio"/> | 圏域内の課題の情報を収集し、解決に向けて取り組みの検討をした。  |

**⑧ 地域の様々な活動や機関と連携・協力ができていたか。**

- |                       |   |
|-----------------------|---|
|                       | ボランティア等「自分ができること・したいこと」で参加しようとする市民を必要なところへ繋ぐことができた。 |
| <input type="radio"/> | 多様な意見や考えをもつ地域住民や組織、団体との協議の場を持つこと等を検討をした。            |
| <input type="radio"/> | 保健・福祉分野以外での地域住民の力が生かされる地域活動等に参加した。                  |

## II, 保健機能

### ① 地域診断や保有データ活用に基づくPDCAサイクルの実施ができていたか。

- 地域の現状に応じて効果的な保健活動を実施するため、住民の声や各種統計データ、調査結果等を収集・分析した。
- 収集・分析の結果を地区保健福祉センターや健康づくり課等と共有した。
- データ等の分析に基づく、取り組むべき課題を明らかにした。
- 課題解決のための実施計画を具体化した。
- 具体化した実施計画を実施した。
- 実施した結果を評価し、改善点を出した。

※ **地域診断**: 地区活動、保健サービス等の提供、また、調査研究、統計情報等に基づき、住民の健康状態や生活環境の実態を把握し、健康問題を構成する要素を分析して、地域において取り組むべき健康課題を明らかにすること

### ② 個人や家族の課題解決のための支援及び予防的介入ができていたか。

- 個々の市民とその家族の健康課題の把握に努めた。
- 生活習慣病の発症及び重症化の予防をはじめ、認知症、虐待、ひきこもり、8050などにつながる可能性のある健康課題を予見し、市民が自ら健全な状態を維持するための知識・技術・資源等の情報を提供した。
- 市民に対し、気づきや動機づけを促す情報の周知を図るために、効果的な周知方法の検討や資料の作成、ICTの活用などに努めた。
- 健康課題の解決に向けて関係機関と連携して支援を行った。

### ③ 個別課題から地域課題への視点をもって、活動の展開ができていたか。

- 家庭訪問や健康相談、健康教育、地区組織の育成等様々な業務を通じて積極的に地域に出向き、市民の生活の実態や健康問題の背景にある要因を把握した。
- 個々の市民の健康課題の把握と対応にとどまらず、そこを起点に地域へと視点を広げ共通する健康課題はないか、地域を総合的に捉えるよう努めた。
- あらゆる年齢や健康レベル及び世帯構成等の人々に、“健康”を切り口としたアプローチを行った。
- 地区活動では、関わろうとする対象に合わせて手段を判断し、いくつもの手段を組み合わせる支援を行った。

### ④ 自然に健康になれる環境づくりができているか。

- 地区活動を通じて把握した健康課題について、関係機関に情報提供を行ったり、情報共有したりした。
  - 健康課題の解決に向けて関係機関と同じ方向性を持ちながら協働できるよう努めたり、それぞれが取り組める方策や解決策を検討したりした。
  - 地域の健康課題の解決に向けて、市民や関係機関に働きかけ、実際に事業や活動を展開した。
- “健康”をキーワードに、関係機関と連携したり、市民と組織等をつなぎ地域のネットワークをつくることで、地域の強みを活かした住民主体の健康づくり活動を後押しするよう努めた。

### Ⅲ、地域づくり機能

<b>① 地域の主要な団体(地域協議会・自治会・福祉委員会等)の活動の場に参加できたか。</b>	
<input type="radio"/>	課題とニーズの把握を行った。
<input type="radio"/>	地域活動の場に直接出向き活動把握を行った。
<input type="radio"/>	住民活動の可視化を行った。
<input type="radio"/>	住民への聞き取り等を通して解決すべき地域課題を把握した。
	インフォーマルサービスの創出を行った。
<b>② 住民活動の場等において、地域資源を把握し、課題、希望等を聞取ることができたか。</b>	
	把握したニーズに対し、インフォーマルサポートにつなぐために包括、CSW、民生委員等の関係機関と連携し、ニーズの解消(マッチング)を行った。
<input type="radio"/>	地域課題や地域資源を把握し、課題解決に向けてサービスのマッチングを行った。
	活動希望者と活動の場のマッチングを行った。
<b>③ 圏域の課題を住民と共有し検討を行い協議できたか。</b>	
<input type="radio"/>	第2層協議体(住民を交え地域課題を協議する場)の設置・運営を行った。
<input type="radio"/>	各種会議に出席し、地域住民や関係機関とつながりを構築した。
<input type="radio"/>	住民や地域の各種団体及び支援者等と既存の社会資源の活用のほか、新たな支援サービスや住民同士の支え合いの仕組みづくりを検討した。
<b>④ 地域の機関等と連携できたか。</b>	
<input type="radio"/>	各種会議に出席し、関係機関とつながりを構築した。
<input type="radio"/>	高齢者が利用する場所や集いの場、高齢者を支援している事業所など様々な団体同士との繋がりを深めた。
	把握したニーズに対し、インフォーマルサポートにつなぐために包括、CSW、民生委員等の関係機関と連携し、ニーズの解消(マッチング)を行った。

#### IV, 多機関協働事業

<b>① <u>会議を通じて、課題を発見・予見できる体制を整えているか。</u>  <u>※個別事例、地域の潜在する問題等</u></b>	
<input type="radio"/>	支援サービスや事業、各種取組を洗い出し整理できる会議参加者の人選を行った。
<input type="radio"/>	支援案件や会議開催時期によって会議参加者を柔軟に変更した。
<input type="radio"/>	各種支援関係機関、サービス提供事業者、福祉のみならず就労、教育、住宅その他の関係機関、民生・児童委員、地域住民などが参加し、確実に支援につなげる体制を準備した。
	地域の関係機関、地域に根差した活動を行っている地域住民の方々などの会議への参加を依頼した。
<b>② <u>会議において、現状の把握、共有ができていますか。</u></b>	
<input type="radio"/>	関係機関等の役割分担を通じて、それぞれの関係機関が責任をもって現状の把握を行った。
<input type="radio"/>	必要に応じて、複数の支援関係機関等から情報収集を行い、包括的に世帯の状況の把握を行った。
<input type="radio"/>	支援関係機関等が共通の認識の下で、支援の方向性検討を行った。
<b>③ <u>会議において、課題(解決を妨げる要因を含む)の整理、共有ができていますか。</u></b>	
<input type="radio"/>	それぞれの関係支援機関が、課題を整理し、情報提供を行った。
<input type="radio"/>	複数の支援関係機関等に整理された課題等の情報提供を行った。
<input type="radio"/>	共有された情報を整理し、必要とされる支援関係機関等に情報提供を行った。
<b>④ <u>会議において、支援の方針・方法を明確にして、共有ができていますか。</u></b>	
<input type="radio"/>	それぞれの支援事例に応じて、開催回数や方法等を地域の実情に応じて柔軟に行った。
<input type="radio"/>	緊急性の高い事案に対し迅速な対応を行った。
<input type="radio"/>	多様な関係者等により、支援を受ける側の負担感や抵抗感にも配慮したアプローチや支援方法を慎重に検討した。
<b>⑤ <u>会議において、各機関の役割分担ができていますか。</u></b>	
<input type="radio"/>	支援の方向性、各支援機関の目的及び役割等の相違を十分に理解し、会議運営を行った。
<input type="radio"/>	各支援担当機関から支援経過や変化を定期的に提供した。
<input type="radio"/>	会議で取り上げた事例等に関する会議内容の振返りを行った。
<b>⑥ <u>継続的な支援が必要な場合、状況に応じて会議の開催を行えているか。</u></b>	
<input type="radio"/>	各担当支援関係機関の定期的支援経過報告において、ケースに応じて支援関係機関の招集を行った。
<input type="radio"/>	緊急性の高い事案に対し、柔軟に迅速な対応を行った。
<input type="radio"/>	既存の会議体の内容を精査し、それらの会議と時間を切り分ける等した上で、継続的な支援会議として活用した。

I, 専門相談支援機能

<b>① 包括的な相談の受け止めができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	属性や世代を問わない相談を受け止めた。
<input type="radio"/>	相談支援機関等が担当する福祉分野に関するものでなくても受け止めた。
<input type="radio"/>	複数の関係機関で連携して対応する相談を受け止めた。
<input type="radio"/>	福祉部門以外の関係課からの相談を受け止めた。
<b>② 対応が困難な事案や課題の全体像を把握した上で、支援機関の役割分担ができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	各支援機関の方向性及び考え方(支援の方針)の範囲を共有できた。
<input type="radio"/>	分野を超えた課題の共有や協議を行った。
<input type="radio"/>	支援機関等の役割分担を行った。
<b>③ 本人や世帯を取り巻く支援機関と協働できていますか。</b>	
<input type="radio"/>	本人や世帯に対し、関係支援機関と共に必要な情報の収集を行った。
<input type="radio"/>	本人や世帯に対し、関係支援機関と共に必要な情報の提供を行った。
<input type="radio"/>	複層的かつ多角的に支援検討するために、関係支援機関、市民などと情報共有を行った。
<input type="radio"/>	課題解決に向けて同じ方向性を持てるよう努めた。
<b>④ 本人や世帯を取り巻く地域の関係者(民生委員等)や地域住民と協働できていますか。</b>	
<input type="radio"/>	相談業務、地域組織のバックアップ等様々な業務を通じて積極的に地域に出向いた。
<input type="radio"/>	支援を必要とする方へのアウトリーチによる活動を行った。
<input type="radio"/>	地域で把握した情報を活用し、生活課題の解決を地域住民に働きかけた。
<b>⑤ 本人や世帯を取り巻く地域の関係者(民生委員等)や地域住民に意識の変化が見られたか。</b>	
<input type="radio"/>	アンケートや聞き取り(ヒアリング)を実施した。
	支援者や地域住民の間で、支え合う気持ちや言動が見られた。
	地域住民と直接連携する場面が増え、相談者を紹介されることが増えた。

⑥ 支援機関へのバックアップができていたか。

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| <input type="radio"/> | 支援機関と圏域内課題の整理や課題の再確認を行った。 |
| <input type="radio"/> | 支援機関が参加する会議を行った。          |
| <input type="radio"/> | 支援機関対象に研修や講演会等を実施した。      |

⑦ 地域住民や団体へのバックアップができていたか。

- |                       |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| <input type="radio"/> | 圏域内の地域住民や団体が開催する会議に参加した。         |
| <input type="radio"/> | 圏域内の地域住民や団体が課題と考えることの整理や再確認を行った。 |
|                       | 地域住民や団体の参加できる研修や講演会等を実施した。       |
| <input type="radio"/> | 圏域内の課題の情報を収集し、解決に向けて取り組みの検討をした。  |

⑧ 地域の様々な活動や機関と連携・協力ができていたか。

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| <input type="radio"/> | ボランティア等「自分ができること・したいこと」で参加しようとする市民を必要なところへ繋ぐことができた。 |
|                       | 多様な意見や考えをもつ地域住民や組織、団体との協議の場を持つこと等を検討をした。            |
| <input type="radio"/> | 保健・福祉分野以外での地域住民の力が生かされる地域活動等に参加した。                  |

## II, 保健機能

### ① 地域診断や保有データ活用に基づくPDCAサイクルの実施ができていたか。

- 地域の現状に応じて効果的な保健活動を実施するため、住民の声や各種統計データ、調査結果等を収集・分析した。
- 収集・分析の結果を地区保健福祉センターや健康づくり課等と共有した。
- データ等の分析に基づく、取り組むべき課題を明らかにした。
- 課題解決のための実施計画を具体化した。
- 具体化した実施計画を実施した。
- 実施した結果を評価し、改善点を出した。

※ **地域診断**: 地区活動、保健サービス等の提供、また、調査研究、統計情報等に基づき、住民の健康状態や生活環境の実態を把握し、健康問題を構成する要素を分析して、地域において取り組むべき健康課題を明らかにすること

### ② 個人や家族の課題解決のための支援及び予防的介入ができていたか。

- 個々の市民とその家族の健康課題の把握に努めた。
- 生活習慣病の発症及び重症化の予防をはじめ、認知症、虐待、ひきこもり、8050などにつながる可能性のある健康課題を予見し、市民が自ら健全な状態を維持するための知識・技術・資源等の情報を提供した。
- 市民に対し、気づきや動機づけを促す情報の周知を図るために、効果的な周知方法の検討や資料の作成、ICTの活用などに努めた。
- 健康課題の解決に向けて関係機関と連携して支援を行った。

### ③ 個別課題から地域課題への視点をもって、活動の展開ができていたか。

- 家庭訪問や健康相談、健康教育、地区組織の育成等様々な業務を通じて積極的に地域に出向き、市民の生活の実態や健康問題の背景にある要因を把握した。
- 個々の市民の健康課題の把握と対応にとどまらず、そこを起点に地域へと視点を広げ共通する健康課題はないか、地域を総合的に捉えるよう努めた。
- あらゆる年齢や健康レベル及び世帯構成等の人々に、“健康”を切り口としたアプローチを行った。
- 地区活動では、関わろうとする対象に合わせて手段を判断し、いくつもの手段を組み合わせる支援を行った。

### ④ 自然に健康になれる環境づくりができているか。

- 地区活動を通じて把握した健康課題について、関係機関に情報提供を行ったり、情報共有したりした。
  - 健康課題の解決に向けて関係機関と同じ方向性を持ちながら協働できるよう努めたり、それぞれが取り組める方策や解決策を検討したりした。
  - 地域の健康課題の解決に向けて、市民や関係機関に働きかけ、実際に事業や活動を展開した。
- “健康”をキーワードに、関係機関と連携したり、市民と組織等をつなぎ地域のネットワークをつくることで、地域の強みを活かした住民主体の健康づくり活動を後押しするよう努めた。

### Ⅲ、地域づくり機能

<b>① 地域の主要な団体(地域協議会・自治会・福祉委員会等)の活動の場に参加できたか。</b>	
<input type="radio"/>	課題とニーズの把握を行った。
<input type="radio"/>	地域活動の場に直接出向き活動把握を行った。
<input type="radio"/>	住民活動の可視化を行った。
<input type="radio"/>	住民への聞き取り等を通して解決すべき地域課題を把握した。
	インフォーマルサービスの創出を行った。
<b>② 住民活動の場等において、地域資源を把握し、課題、希望等を聞取ることができたか。</b>	
<input type="radio"/>	把握したニーズに対し、インフォーマルサポートにつなぐために包括、CSW、民生委員等の関係機関と連携し、ニーズの解消(マッチング)を行った。
<input type="radio"/>	地域課題や地域資源を把握し、課題解決に向けてサービスのマッチングを行った。
<input type="radio"/>	活動希望者と活動の場のマッチングを行った。
<b>③ 圏域の課題を住民と共有し検討を行い協議できたか。</b>	
	第2層協議体(住民を交え地域課題を協議する場)の設置・運営を行った。
<input type="radio"/>	各種会議に出席し、地域住民や関係機関とつながりを構築した。
<input type="radio"/>	住民や地域の各種団体及び支援者等と既存の社会資源の活用のほか、新たな支援サービスや住民同士の支え合いの仕組みづくりを検討した。
<b>④ 地域の機関等と連携できたか。</b>	
<input type="radio"/>	各種会議に出席し、関係機関とつながりを構築した。
<input type="radio"/>	高齢者が利用する場所や集いの場、高齢者を支援している事業所など様々な団体同士との繋がりを深めた。
	把握したニーズに対し、インフォーマルサポートにつなぐために包括、CSW、民生委員等の関係機関と連携し、ニーズの解消(マッチング)を行った。

#### IV, 多機関協働事業

<b>① <u>会議を通じて、課題を発見・予見できる体制を整えているか。</u>  <u>※個別事例、地域の潜在する問題等</u></b>	
<input type="checkbox"/>	支援サービスや事業、各種取組を洗い出し整理できる会議参加者の人選を行った。
<input type="checkbox"/>	支援案件や会議開催時期によって会議参加者を柔軟に変更した。
<input type="checkbox"/>	各種支援関係機関、サービス提供事業者、福祉のみならず就労、教育、住宅その他の関係機関、民生・児童委員、地域住民などが参加し、確実に支援につなげる体制を準備した。
<input type="checkbox"/>	地域の関係機関、地域に根差した活動を行っている地域住民の方々などの会議への参加を依頼した。
<b>② <u>会議において、現状の把握、共有ができていますか。</u></b>	
<input type="checkbox"/>	関係機関等の役割分担を通じて、それぞれの関係機関が責任をもって現状の把握を行った。
<input type="checkbox"/>	必要に応じて、複数の支援関係機関等から情報収集を行い、包括的に世帯の状況の把握を行った。
<input type="checkbox"/>	支援関係機関等が共通の認識の下で、支援の方向性検討を行った。
<b>③ <u>会議において、課題(解決を妨げる要因を含む)の整理、共有ができていますか。</u></b>	
<input type="checkbox"/>	それぞれの関係支援機関が、課題を整理し、情報提供を行った。
<input type="checkbox"/>	複数の支援関係機関等に整理された課題等の情報提供を行った。
<input type="checkbox"/>	共有された情報を整理し、必要とされる支援関係機関等に情報提供を行った。
<b>④ <u>会議において、支援の方針・方法を明確にして、共有ができていますか。</u></b>	
<input type="checkbox"/>	それぞれの支援事例に応じて、開催回数や方法を地域の実情に応じて柔軟に行った。
<input type="checkbox"/>	緊急性の高い事案に対し迅速な対応を行った。
<input type="checkbox"/>	多様な関係者等により、支援を受ける側の負担感や抵抗感にも配慮したアプローチや支援方法を慎重に検討した。
<b>⑤ <u>会議において、各機関の役割分担ができていますか。</u></b>	
<input type="checkbox"/>	支援の方向性、各支援機関の目的及び役割等の相違を十分に理解し、会議運営を行った。
<input type="checkbox"/>	各支援担当機関から支援経過や変化を定期的に提供した。
<input type="checkbox"/>	会議で取り上げた事例等に関する会議内容の振返りを行った。
<b>⑥ <u>継続的な支援が必要な場合、状況に応じて会議の開催を行えているか。</u></b>	
<input type="checkbox"/>	各担当支援関係機関の定期的支援経過報告において、ケースに応じて支援関係機関の招集を行った。
<input type="checkbox"/>	緊急性の高い事案に対し、柔軟に迅速な対応を行った。
<input type="checkbox"/>	既存の会議体の内容を精査し、それらの会議と時間を切り分ける等した上で、継続的な支援会議として活用した。

I, 専門相談支援機能

<b>① 包括的な相談の受け止めができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	属性や世代を問わない相談を受け止めた。
<input type="radio"/>	相談支援機関等が担当する福祉分野に関するものでなくても受け止めた。
<input type="radio"/>	複数の関係機関で連携して対応する相談を受け止めた。
<input type="radio"/>	福祉部門以外の関係課からの相談を受け止めた。
<b>② 対応が困難な事案や課題の全体像を把握した上で、支援機関の役割分担ができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	各支援機関の方向性及び考え方(支援の方針)の範囲を共有できた。
<input type="radio"/>	分野を超えた課題の共有や協議を行った。
<input type="radio"/>	支援機関等の役割分担を行った。
<b>③ 本人や世帯を取り巻く支援機関と協働できていますか。</b>	
<input type="radio"/>	本人や世帯に対し、関係支援機関と共に必要な情報の収集を行った。
<input type="radio"/>	本人や世帯に対し、関係支援機関と共に必要な情報の提供を行った。
<input type="radio"/>	複層的かつ多角的に支援検討するために、関係支援機関、市民などと情報共有を行った。
<input type="radio"/>	課題解決に向けて同じ方向性を持てるよう努めた。
<b>④ 本人や世帯を取り巻く地域の関係者(民生委員等)や地域住民と協働できていますか。</b>	
<input type="radio"/>	相談業務、地域組織のバックアップ等様々な業務を通じて積極的に地域に出向いた。
<input type="radio"/>	支援を必要とする方へのアウトリーチによる活動を行った。
<input type="radio"/>	地域で把握した情報を活用し、生活課題の解決を地域住民に働きかけた。
<b>⑤ 本人や世帯を取り巻く地域の関係者(民生委員等)や地域住民に意識の変化が見られたか。</b>	
<input type="radio"/>	アンケートや聞き取り(ヒアリング)を実施した。
<input type="radio"/>	支援者や地域住民の間で、支え合う気持ちや言動が見られた。
<input type="radio"/>	地域住民と直接連携する場面が増え、相談者を紹介されることが増えた。

⑥ 支援機関へのバックアップができていたか。

<input type="checkbox"/>	支援機関と圏域内課題の整理や課題の再確認を行った。
<input type="checkbox"/>	支援機関が参加する会議を行った。
<input type="checkbox"/>	支援機関対象に研修や講演会等を実施した。

⑦ 地域住民や団体へのバックアップができていたか。

<input type="checkbox"/>	圏域内の地域住民や団体が開催する会議に参加した。
<input type="checkbox"/>	圏域内の地域住民や団体が課題と考えることの整理や再確認を行った。
<input type="checkbox"/>	地域住民や団体の参加できる研修や講演会等を実施した。
<input type="checkbox"/>	圏域内の課題の情報を収集し、解決に向けて取り組みの検討をした。

⑧ 地域の様々な活動や機関と連携・協力ができていたか。

<input type="checkbox"/>	ボランティア等「自分ができること・したいこと」で参加しようとする市民を必要なところへ繋ぐことができた。
<input type="checkbox"/>	多様な意見や考えをもつ地域住民や組織、団体との協議の場を持つこと等を検討をした。
<input type="checkbox"/>	保健・福祉分野以外での地域住民の力が生かされる地域活動等に参加した。

## II, 保健機能

### ① 地域診断や保有データ活用に基づくPDCAサイクルの実施ができていたか。

- 地域の現状に応じて効果的な保健活動を実施するため、住民の声や各種統計データ、調査結果等を収集・分析した。
- 収集・分析の結果を地区保健福祉センターや健康づくり課等と共有した。
- データ等の分析に基づく、取り組むべき課題を明らかにした。
- 課題解決のための実施計画を具体化した。
- 具体化した実施計画を実施した。
- 実施した結果を評価し、改善点を出した。

※ **地域診断**: 地区活動、保健サービス等の提供、また、調査研究、統計情報等に基づき、住民の健康状態や生活環境の実態を把握し、健康問題を構成する要素を分析して、地域において取り組むべき健康課題を明らかにすること

### ② 個人や家族の課題解決のための支援及び予防的介入ができていたか。

- 個々の市民とその家族の健康課題の把握に努めた。
- 生活習慣病の発症及び重症化の予防をはじめ、認知症、虐待、ひきこもり、8050などにつながる可能性のある健康課題を予見し、市民が自ら健全な状態を維持するための知識・技術・資源等の情報を提供した。
- 市民に対し、気づきや動機づけを促す情報の周知を図るために、効果的な周知方法の検討や資料の作成、ICTの活用などに努めた。
- 健康課題の解決に向けて関係機関と連携して支援を行った。

### ③ 個別課題から地域課題への視点をもって、活動の展開ができていたか。

- 家庭訪問や健康相談、健康教育、地区組織の育成等様々な業務を通じて積極的に地域に出向き、市民の生活の実態や健康問題の背景にある要因を把握した。
- 個々の市民の健康課題の把握と対応にとどまらず、そこを起点に地域へと視点を広げ共通する健康課題はないか、地域を総合的に捉えるよう努めた。
- あらゆる年齢や健康レベル及び世帯構成等の人々に、“健康”を切り口としたアプローチを行った。
- 地区活動では、関わろうとする対象に合わせて手段を判断し、いくつもの手段を組み合わせる支援を行った。

### ④ 自然に健康になれる環境づくりができているか。

- 地区活動を通じて把握した健康課題について、関係機関に情報提供を行ったり、情報共有したりした。
- 健康課題の解決に向けて関係機関と同じ方向性を持ちながら協働できるよう努めたり、それぞれが取り組める方策や解決策を検討したりした。
- 地域の健康課題の解決に向けて、市民や関係機関に働きかけ、実際に事業や活動を展開した。
- “健康”をキーワードに、関係機関と連携したり、市民と組織等をつなぎ地域のネットワークをつくることで、地域の強みを活かした住民主体の健康づくり活動を後押しするよう努めた。

### Ⅲ、地域づくり機能

<b>① 地域の主要な団体(地域協議会・自治会・福祉委員会等)の活動の場に参加できたか。</b>	
<input type="radio"/>	課題とニーズの把握を行った。
<input type="radio"/>	地域活動の場に直接出向き活動把握を行った。
<input type="radio"/>	住民活動の可視化を行った。
<input type="radio"/>	住民への聞き取り等を通して解決すべき地域課題を把握した。
<input type="radio"/>	インフォーマルサービスの創出を行った。
<b>② 住民活動の場等において、地域資源を把握し、課題、希望等を聞取ることができたか。</b>	
<input type="radio"/>	把握したニーズに対し、インフォーマルサポートにつなぐために包括、CSW、民生委員等の関係機関と連携し、ニーズの解消(マッチング)を行った。
	地域課題や地域資源を把握し、課題解決に向けてサービスのマッチングを行った。
<input type="radio"/>	活動希望者と活動の場のマッチングを行った。
<b>③ 圏域の課題を住民と共有し検討を行い協議できたか。</b>	
	第2層協議体(住民を交え地域課題を協議する場)の設置・運営を行った。
<input type="radio"/>	各種会議に出席し、地域住民や関係機関とつながりを構築した。
	住民や地域の各種団体及び支援者等と既存の社会資源の活用のほか、新たな支援サービスや住民同士の支え合いの仕組みづくりを検討した。
<b>④ 地域の機関等と連携できたか。</b>	
<input type="radio"/>	各種会議に出席し、関係機関とつながりを構築した。
<input type="radio"/>	高齢者が利用する場所や集いの場、高齢者を支援している事業所など様々な団体同士との繋がりを深めた。
	把握したニーズに対し、インフォーマルサポートにつなぐために包括、CSW、民生委員等の関係機関と連携し、ニーズの解消(マッチング)を行った。

#### IV, 多機関協働事業

<b>① 会議を通じて、課題を発見・予見できる体制を整えているか。 ※個別事例、地域の潜在する問題等</b>	
<input type="radio"/>	支援サービスや事業、各種取組を洗い出し整理できる会議参加者の人選を行った。
<input type="radio"/>	支援案件や会議開催時期によって会議参加者を柔軟に変更した。
<input type="radio"/>	各種支援関係機関、サービス提供事業者、福祉のみならず就労、教育、住宅その他の関係機関、民生・児童委員、地域住民などが参加し、確実に支援につなげる体制を準備した。
<input type="radio"/>	地域の関係機関、地域に根差した活動を行っている地域住民の方々などの会議への参加を依頼した。
<b>② 会議において、現状の把握、共有ができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	関係機関等の役割分担を通じて、それぞれの関係機関が責任をもって現状の把握を行った。
<input type="radio"/>	必要に応じて、複数の支援関係機関等から情報収集を行い、包括的に世帯の状況の把握を行った。
<input type="radio"/>	支援関係機関等が共通の認識の下で、支援の方向性検討を行った。
<b>③ 会議において、課題(解決を妨げる要因を含む)の整理、共有ができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	それぞれの関係支援機関が、課題を整理し、情報提供を行った。
<input type="radio"/>	複数の支援関係機関等に整理された課題等の情報提供を行った。
<input type="radio"/>	共有された情報を整理し、必要とされる支援関係機関等に情報提供を行った。
<b>④ 会議において、支援の方針・方法を明確にして、共有ができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	それぞれの支援事例に応じて、開催回数や方法等を地域の実情に応じて柔軟に行った。
<input type="radio"/>	緊急性の高い事案に対し迅速な対応を行った。
<input type="radio"/>	多様な関係者等により、支援を受ける側の負担感や抵抗感にも配慮したアプローチや支援方法を慎重に検討した。
<b>⑤ 会議において、各機関の役割分担ができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	支援の方向性、各支援機関の目的及び役割等の相違を十分に理解し、会議運営を行った。
<input type="radio"/>	各支援担当機関から支援経過や変化を定期的に提供した。
<input type="radio"/>	会議で取り上げた事例等に関する会議内容の振返りを行った。
<b>⑥ 継続的な支援が必要な場合、状況に応じて会議の開催を行えているか。</b>	
<input type="radio"/>	各担当支援関係機関の定期的支援経過報告において、ケースに応じて支援関係機関の招集を行った。
<input type="radio"/>	緊急性の高い事案に対し、柔軟に迅速な対応を行った。
<input type="radio"/>	既存の会議体の内容を精査し、それらの会議と時間を切り分ける等した上で、継続的な支援会議として活用した。

I, 専門相談支援機能

<b>① 包括的な相談の受け止めができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	属性や世代を問わない相談を受け止めた。
<input type="radio"/>	相談支援機関等が担当する福祉分野に関するものでなくても受け止めた。
	複数の関係機関で連携して対応する相談を受け止めた。
<input type="radio"/>	福祉部門以外の関係課からの相談を受け止めた。
<b>② 対応が困難な事案や課題の全体像を把握した上で、支援機関の役割分担ができていますか。</b>	
<input type="radio"/>	各支援機関の方向性及び考え方(支援の方針)の範囲を共有できた。
<input type="radio"/>	分野を超えた課題の共有や協議を行った。
<input type="radio"/>	支援機関等の役割分担を行った。
<b>③ 本人や世帯を取り巻く支援機関と協働できていますか。</b>	
<input type="radio"/>	本人や世帯に対し、関係支援機関と共に必要な情報の収集を行った。
	本人や世帯に対し、関係支援機関と共に必要な情報の提供を行った。
<input type="radio"/>	複層的かつ多角的に支援検討するために、関係支援機関、市民などと情報共有を行った。
<input type="radio"/>	課題解決に向けて同じ方向性を持てるよう努めた。
<b>④ 本人や世帯を取り巻く地域の関係者(民生委員等)や地域住民と協働できていますか。</b>	
<input type="radio"/>	相談業務、地域組織のバックアップ等様々な業務を通じて積極的に地域に出向いた。
<input type="radio"/>	支援を必要とする方へのアウトリーチによる活動を行った。
	地域で把握した情報を活用し、生活課題の解決を地域住民に働きかけた。
<b>⑤ 本人や世帯を取り巻く地域の関係者(民生委員等)や地域住民に意識の変化が見られたか。</b>	
<input type="radio"/>	アンケートや聞き取り(ヒアリング)を実施した。
<input type="radio"/>	支援者や地域住民の間で、支え合う気持ちや言動が見られた。
<input type="radio"/>	地域住民と直接連携する場面が増え、相談者を紹介されることが増えた。

⑥ 支援機関へのバックアップができていたか。

<input type="checkbox"/>	支援機関と圏域内課題の整理や課題の再確認を行った。
<input type="checkbox"/>	支援機関が参加する会議を行った。
<input type="checkbox"/>	支援機関対象に研修や講演会等を実施した。

⑦ 地域住民や団体へのバックアップができていたか。

<input type="checkbox"/>	圏域内の地域住民や団体が開催する会議に参加した。
<input type="checkbox"/>	圏域内の地域住民や団体が課題と考えることの整理や再確認を行った。
<input type="checkbox"/>	地域住民や団体の参加できる研修や講演会等を実施した。
<input type="checkbox"/>	圏域内の課題の情報を収集し、解決に向けて取り組みの検討をした。

⑧ 地域の様々な活動や機関と連携・協力ができていたか。

<input type="checkbox"/>	ボランティア等「自分ができること・したいこと」で参加しようとする市民を必要なところへ繋ぐことができた。
<input type="checkbox"/>	多様な意見や考えをもつ地域住民や組織、団体との協議の場を持つこと等を検討をした。
<input type="checkbox"/>	保健・福祉分野以外での地域住民の力が生かされる地域活動等に参加した。

## II, 保健機能

### ① 地域診断や保有データ活用に基づくPDCAサイクルの実施ができていたか。

- 地域の現状に応じて効果的な保健活動を実施するため、住民の声や各種統計データ、調査結果等を収集・分析した。
- 収集・分析の結果を地区保健福祉センターや健康づくり課等と共有した。
- データ等の分析に基づく、取り組むべき課題を明らかにした。
- 課題解決のための実施計画を具体化した。
- 具体化した実施計画を実施した。
- 実施した結果を評価し、改善点を出した。

※ **地域診断**: 地区活動、保健サービス等の提供、また、調査研究、統計情報等に基づき、住民の健康状態や生活環境の実態を把握し、健康問題を構成する要素を分析して、地域において取り組むべき健康課題を明らかにすること

### ② 個人や家族の課題解決のための支援及び予防的介入ができていたか。

- 個々の市民とその家族の健康課題の把握に努めた。
- 生活習慣病の発症及び重症化の予防をはじめ、認知症、虐待、ひきこもり、8050などにつながる可能性のある健康課題を予見し、市民が自ら健全な状態を維持するための知識・技術・資源等の情報を提供した。
- 市民に対し、気づきや動機づけを促す情報の周知を図るために、効果的な周知方法の検討や資料の作成、ICTの活用などに努めた。
- 健康課題の解決に向けて関係機関と連携して支援を行った。

### ③ 個別課題から地域課題への視点をもって、活動の展開ができていたか。

- 家庭訪問や健康相談、健康教育、地区組織の育成等様々な業務を通じて積極的に地域に出向き、市民の生活の実態や健康問題の背景にある要因を把握した。
- 個々の市民の健康課題の把握と対応にとどまらず、そこを起点に地域へと視点を広げ共通する健康課題はないか、地域を総合的に捉えるよう努めた。
- あらゆる年齢や健康レベル及び世帯構成等の人々に、“健康”を切り口としたアプローチを行った。
- 地区活動では、関わろうとする対象に合わせて手段を判断し、いくつもの手段を組み合わせる支援を行った。

### ④ 自然に健康になれる環境づくりができているか。

- 地区活動を通じて把握した健康課題について、関係機関に情報提供を行ったり、情報共有したりした。
- 健康課題の解決に向けて関係機関と同じ方向性を持ちながら協働できるよう努めたり、それぞれが取り組める方策や解決策を検討したりした。
- 地域の健康課題の解決に向けて、市民や関係機関に働きかけ、実際に事業や活動を展開した。
- “健康”をキーワードに、関係機関と連携したり、市民と組織等をつなぎ地域のネットワークをつくることで、地域の強みを活かした住民主体の健康づくり活動を後押しするよう努めた。

### Ⅲ、地域づくり機能

<b>① 地域の主要な団体(地域協議会・自治会・福祉委員会等)の活動の場に参加できたか。</b>	
<input type="radio"/>	課題とニーズの把握を行った。
<input type="radio"/>	地域活動の場に直接出向き活動把握を行った。
	住民活動の可視化を行った。
<input type="radio"/>	住民への聞き取り等を通して解決すべき地域課題を把握した。
	インフォーマルサービスの創出を行った。
<b>② 住民活動の場等において、地域資源を把握し、課題、希望等を聞取ることができたか。</b>	
	把握したニーズに対し、インフォーマルサポートにつなぐために包括、CSW、民生委員等の関係機関と連携し、ニーズの解消(マッチング)を行った。
<input type="radio"/>	地域課題や地域資源を把握し、課題解決に向けてサービスのマッチングを行った。
<input type="radio"/>	活動希望者と活動の場のマッチングを行った。
<b>③ 圏域の課題を住民と共有し検討を行い協議できたか。</b>	
	第2層協議体(住民を交え地域課題を協議する場)の設置・運営を行った。
	各種会議に出席し、地域住民や関係機関とつながりを構築した。
<input type="radio"/>	住民や地域の各種団体及び支援者等と既存の社会資源の活用のほか、新たな支援サービスや住民同士の支え合いの仕組みづくりを検討した。
<b>④ 地域の機関等と連携できたか。</b>	
<input type="radio"/>	各種会議に出席し、関係機関とつながりを構築した。
<input type="radio"/>	高齢者が利用する場所や集いの場、高齢者を支援している事業所など様々な団体同士との繋がりを深めた。
	把握したニーズに対し、インフォーマルサポートにつなぐために包括、CSW、民生委員等の関係機関と連携し、ニーズの解消(マッチング)を行った。

#### IV, 多機関協働事業

<b>① <u>会議を通じて、課題を発見・予見できる体制を整えているか。</u>  <u>※個別事例、地域の潜在する問題等</u></b>	
<input type="radio"/>	支援サービスや事業、各種取組を洗い出し整理できる会議参加者の人選を行った。
<input type="radio"/>	支援案件や会議開催時期によって会議参加者を柔軟に変更した。
<input type="radio"/>	各種支援関係機関、サービス提供事業者、福祉のみならず就労、教育、住宅その他の関係機関、民生・児童委員、地域住民などが参加し、確実に支援につなげる体制を準備した。
	地域の関係機関、地域に根差した活動を行っている地域住民の方々などの会議への参加を依頼した。
<b>② <u>会議において、現状の把握、共有ができていますか。</u></b>	
<input type="radio"/>	関係機関等の役割分担を通じて、それぞれの関係機関が責任をもって現状の把握を行った。
<input type="radio"/>	必要に応じて、複数の支援関係機関等から情報収集を行い、包括的に世帯の状況の把握を行った。
<input type="radio"/>	支援関係機関等が共通の認識の下で、支援の方向性検討を行った。
<b>③ <u>会議において、課題(解決を妨げる要因を含む)の整理、共有ができていますか。</u></b>	
<input type="radio"/>	それぞれの関係支援機関が、課題を整理し、情報提供を行った。
<input type="radio"/>	複数の支援関係機関等に整理された課題等の情報提供を行った。
<input type="radio"/>	共有された情報を整理し、必要とされる支援関係機関等に情報提供を行った。
<b>④ <u>会議において、支援の方針・方法を明確にして、共有ができていますか。</u></b>	
<input type="radio"/>	それぞれの支援事例に応じて、開催回数や方法等を地域の実情に応じて柔軟に行った。
<input type="radio"/>	緊急性の高い事案に対し迅速な対応を行った。
<input type="radio"/>	多様な関係者等により、支援を受ける側の負担感や抵抗感にも配慮したアプローチや支援方法を慎重に検討した。
<b>⑤ <u>会議において、各機関の役割分担ができていますか。</u></b>	
<input type="radio"/>	支援の方向性、各支援機関の目的及び役割等の相違を十分に理解し、会議運営を行った。
<input type="radio"/>	各支援担当機関から支援経過や変化を定期的に提供した。
	会議で取り上げた事例等に関する会議内容の振返りを行った。
<b>⑥ <u>継続的な支援が必要な場合、状況に応じて会議の開催を行えているか。</u></b>	
<input type="radio"/>	各担当支援関係機関の定期的支援経過報告において、ケースに応じて支援関係機関の招集を行った。
<input type="radio"/>	緊急性の高い事案に対し、柔軟に迅速な対応を行った。
	既存の会議体の内容を精査し、それらの会議と時間を切り分ける等した上で、継続的な支援会議として活用した。